

創政会 行政視察所感

日 程／平成 27 年 4 月 22 日（水）～24 日（金）

視察内容／①新潟県糸魚川市議会 「ジオパークによるまちづくり・地域振興について」

②富山県氷見市議会 「ファシリテーションによる市民参加型行政について」

出席議員／桑田 鉄男、下川原 光昭、下館 祥二

（所感）

富山県 氷見市

ファシリテーションによる市民参加型行政について

まず、ファシリテーションとは、参加者どうしの成果を最大限に発揮できるようにする、チームサポート技法のことをいう。

人々の活動が容易に出来るよう支援し、うまくこと成運ぶように舵取りするが、ファシリテーションでその役割を担う人が、ファシリテーター。

ファシリテーターは、より深い対話を促し、そこから、そのワークショップ内でゴールとなる問題解決、価値創造、合意形成、自己変革などに導く人のこと。氷見市では、この技法を使って、氷見駅周辺整備座談会、氷見高校生座談会、ふれあいトーク・年代別トーク・子育て世代トーク・女子会トーク、各地区トーク等々、地域と行政とをつなぎ、住民と一緒にまちづくりに取り組んでいる。又、まちづくりふれあいトークには、市長みづから、ファシリテーターとして、各地域に出向いているのには驚かされた。

当市の市長も氷見市の取り組みを取り入れてほしい。議会としては平成 25 年から「かたて会議」として、取り組んでいる。

新潟県糸魚川市

ジオパークによるまちづくり・地域振興について

糸魚川市のまちづくりの目標と施策の大綱を示す糸魚川市総合計画には、目標とする都市像として、翠の交流都市、エビヤカ、スエヤカ、輝きのまちを掲げる。これを実現するため健康福祉、教育、生活基盤、産業、生活環境、地域づくり、自治の6つの分野についての基本施策があり、ジオパークは糸魚川市総合計画の6つの分野すべてに関わりを持っており、ジオパークの取り組みを進めることで、7つの分野への優れた効果が期待されている。ジオパークは、決して新たな取り組みではなく、糸魚川市がこれまで進めてきた各種事業を同一方向に向け、より大きな効果をもたらす新たな地域づくりを進めている。

当市は平成25年7月24日、三陸ジオパークが日本ジオパークに認定された。当市は、国内有数の地質を有する。古代から続く琥珀採掘と製鉄等々、自然豊かな地域であり、他に類を見ない多くの資源があることから、糸魚川市のヒスイと当市のコハクを結ぶ交流を深め、共に地域発展し続けていければと願う……。